

～議題：ウミガメ放流会で、ウミガメの命の大切さを発信しよう！～

【ねらい】

ウミガメ保護員の一員として、放流会で、ウミガメの命の大切さを発信するために、自他の思いを大切にしながら活発な話し合いができるようにする。



【写真①：板書】

【学級会ノート】

6月25日(月) 5校時目

ぎ だい 議 題	ウミガメ放流会で、ウミガメの命の大切さを発信しよう！	
ていあん りゆう 提案理由	これまでぼくたちは、ウミガメ博士を目指して、ウミガメ保護活動について学んできました。でも、ウミガメ保護員の方の話を聞いて、ウミガメの命を守るためには、もっと、たくさんの方と一緒にウミガメを守っていかないとけないと思いました。そこで、放流会の時に、ウミガメの命の大切さを、ウミガメ保護員の一員として発信することで、ウミガメを保護することの大切さが松ヶ浦全体に広がり、元気いっぱいの松ヶ浦になるのではないかと思います。そうすることで、ぼくたちの友情の絆も深まるし、これまで以上に一人一人が輝くのではないかと思ったから提案しました。自分たちの力でキセキを起こしたいです。	
めあて	みんなの話をよく聞いて、活発な話し合いにしよう。	
決まっていること	・ウミガメ放流会の時 ・自分たちの力で ・一学期中に準備	
しかい 司会グループ	司会	進行・記録
《キーワード》	ウミガメの命 ウミガメ保護員の一員 元気いっぱい松ヶ浦	
話し合うこと	自分の考え(理由もしっかりと書く)	
話し合うこと① 何をするか	【自分の考え】 【理由】	
話し合うこと② いつまでに、だ がするのか	【自分の考え】	

指導のワンポイント

☆ 事前に子どもの目的意識を高めるための工夫

- 道徳（命の尊さ）「氷原を走る犬ぞり」との関連（写真②）
- 学級活動(3)「本当の”ウミガメはかせ”になるぞ！」との関連（写真③）
- ウミガメの放流会を行う海岸の様子を教室に掲示



【写真②：道徳との関連】



【写真③：学級活動(3)との関連】

☆ 自他の意見の思いや願いを大切にしながら合意形成図っていくための学習過程の工夫

- **話し合うこと①「何をするか」**
 - ・「出し合うタイム」（3分）
 - ①事前に考えてきた自分の思いを説明したり、具体的に知りたい意見について質問させたりした。
 - ・「比べ合うタイム」（15分）
 - ①賛成意見は、キーワードや決まっていることを意識しながら発表させた。
 - ②全員が、「なるほど」「納得」という意見の場合は、まとめるタイムでなくても決定させた。
 - ・「まとめるタイム」（5分）
 - ①キーワードの数が多かったり、三つ揃ったりする意見を一つずつ決めた。
 - ②少数意見に対して、心配なことや決まっていることなどから合意させてしまった。
- **話し合うこと②「いつまでにだれがするか」**
 - ・「出し合うタイム」（3分）
 - ①話し合うこと①で決まった活動について、だれが担当するかについて発表させた。
 - ・「比べ合うタイム」＋「まとめるタイム」（10分）
 - ①友達の得意なことや自分のよさが発揮できる活動を担当させるようにした。
 - ②各学年や各教科で学習する内容と関連付けて、担当を決めることができた。

アドバイス

- それぞれの考えが分類できる場合は、最初から仲間分けして短冊を並べておくと、分類した中から決めればよいことに気づき、整理しやすく時間短縮にもなると考えられる。（計画委員会の段階で確認）
- 少数意見に対して、改善策などのアイデアを出して、できるだけ考えを取り入れるようにするべきだが、「決まっていること」ととらわれ過ぎてしまった。もっと、一人一人の意見を大切に、全員が納得し実践につながるような合意形成をさせることが大切であると反省した。また、「決まっていること」や「キーワード」があるおかげで話し合いの幅が狭くなってしまいうこともある。（教師の問い返しが必要）
- 総合的な学習の時間と関連付けて、いつまでに完成させるか決めるなど、意欲と責任をもたせ実践活動につなげた。



【放流会に向けて準備】



【放流会の様子】